

O's News

2022

9



誤嚥性肺炎を引き起こす嚥下障害とは？

正しい理解と早めの受診を

総合リハビリテーション科 言語聴覚士 吉田 達也

疑問に感じた事はありますか？私たちは口からご飯を食べ、呼吸をしますが、どうして食べ物だけを胃に送る事が出来るのでしょうか。図1の赤い〇を見てください。これは喉にある第一のセンサーです。空

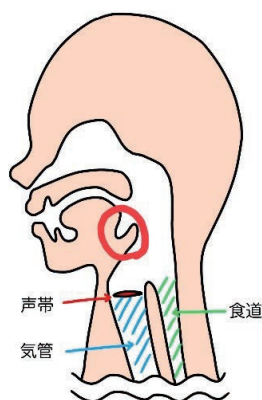


図1

気が通る時は動きませんが、食べ物が通る時にはパッと閉じて気管のフタになります。このフタの働きで食べ物が気管に入らないように防いでいます。しかし、脳血管障害等の影響でこのフタが上手く機能しなくなる事があります。本来胃に向かうはずの食べ物が、誤って気管に入ってしまうのです。これを「誤嚥」と言います。そこで第二のセンサーが働きます。それが「ムセ」です。誤って気管に入った食べ物を感知して、ムセる事で外に出そうとします。問題はここからです。もし食べ物が第二のセンサーも通過してしまった場合どうなるのでしょうか。食べ物は気管を通り肺に入ります。そしてその中に潜む細菌が肺を攻撃します。すると肺はダメージを受けて本来の機能を失います。これが皆さんも一度は聞いたことがある「誤嚥性肺炎」です。誤嚥性肺炎は生命に関わる非常に危

険な病気なので何としても避けたいものです。

誤嚥性肺炎に繋がるような飲み込みの不調をまとめて「嚥下障害」と呼びます。先程お話した「ムセ」は嚥下障害の典型的なサインです。嚥下障害は誤嚥性肺炎のリスクが高くなるだけでなく、栄養が摂れず免疫力が落ちたり、気管が詰まって窒息したり・・・聞くだけでも恐ろしいですね？嚥下障害の原因は脳血管障害によるものが多いと言われていますが、その他にも舌や口全体の筋力の低下、口内炎や咽頭炎、疲れやストレス等様々です。その為原因を自分で判断する事は困難です。一番の対策は「放置せずに医療機関に相談する事」です。もし以下のような症状があれば早めの受診をお勧め致します。①食事中に咳払いやムセが目立つようになった。②食事に時間が掛かるようになった。③歯はそのままなのに柔らかい物しか食べられなくなった。その他食事に違和感を覚えた時には、かかりつけ医へご相談

ください。原因を正しく診断しそれぞれに応じた治療、対策を行う事で誤嚥性肺炎を防ぎ楽しい食生活を送りましょう。



弱くなった筋肉を電気刺激で活性化 ～IVES～

総合リハビリテーション科 作業療法士 播間 大画

作業療法では主に日常生活動作と呼ばれる食事・整容・更衣・入浴・排泄動作や趣味活動・仕事復帰に必要な能力の獲得を目指して治療や訓練を行なっています。その中で、当院では2019年より随意運動介助機能的電気刺激(以下IVES)と呼ばれる治療機器を用いた治療も行なっています。IVESは1997年に開発され、数々の治療効果の検証を行ったのち日本や諸外国でも臨床での使用を推奨されています。脳卒中等により運動麻痺で弱くなった筋に対し、適切な電気刺激を与え筋の収縮を助けることができる治療機器です。患者様の状態や症状によっては使えない場合があります、電

気刺激を苦手と感じる方もおられますが、電気刺激の量や治療効果などを一緒に確認しながら行なっています。IVESを使用された方からは「使って良かった」「動きやすくなった」などの感想が聞かれています。当院の作業療法では、IVESを含めた様々な治療法を用いて患者様がより良い生活動作を送れるよう治療・訓練を行なっています。



customer satisfaction

CS



顧客満足度向上を目指して

CS接遇委員会 委員長
看護部長 前田 ゆうこ

新型コロナウイルス感染の影響でマスクの着用が必須となり、今は逆に外すことに抵抗を感じてしまいます。マスクをしていることで表情がわかり辛く、話声も聞こえ難いと誰もが感じているのではないのでしょうか。そこで当院では、皆様とのコミュニケーションエラーが生じないよう、今まで以上に相手を気遣う声の大きさ・トーン・目の表情・話し方・聞く姿勢を意識して行動することを目標に、今年度から「ロールプレイング学習」を行うことにしました。ロールプレイとは、実際の場面を想定して疑似体験の中でスキルを身につけ高める学習方法です。良い例と悪い例を職員同士が演じ、お互い

の意見を共有することで相手目線を意識し、当院の接遇向上に繋がることを期待しています。

また、定期的に患者様・ご家族を対象に接遇アンケートを実施しています。結果について職員全員が共有し、改善案を出し合いました。改善案の一つに会計の待ち時間を減らすためレジを増やし、職員間の連携を円滑にするため声掛けを必ず行うように取り組んでいます。今年度もアンケートを予定しておりますので、率直なご意見をお聞かせください。ご協力よろしくお願いいたします。



二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子



ながつき
9月(長月)

虫の音が心地良い秋の夜。夜の時間がだんだん長くなる「夜長月(よるながつき)」が変化して「長月」になりました。



十四節気

処暑
しよしよ

9/2～6(第四十二候) 禾乃登／こくものすなわちみのる

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」黄金色の稲が広がります。初秋の空に飛ぶとんぼ♪欧米では「悪魔の縫い針」などと呼ばれていましたが日本では反対に縁起のよい虫とされました。前へ前へ飛ぶとんぼを「勝虫」と呼び、戦国武将は兜のデザインに。とんぼの古名は「秋津」あきつしま。日本国を「秋津洲」と呼んだ時代もありました。



十五節気

白露
はくろ

9/7～12(第四十三候) 草露白／くさのつゆしろし

気温の下がった朝、草花に小さな露を見つける頃。「あれマツムシが鳴いている～♪チンチロリン」日本人は秋の虫の声を聞き分ける耳を持っていると言われますね。「マツムシ」の声を都市部で聞くのはむずかしくなりましたが、外来種の「アオマツムシ」の「リーリー」という鳴き声が、夜の街路樹から聞こえます。なかなかの大音量です～。



9/13～17(第四十四候) 鵲鵲鳴／せきれいなく

せきれいが鳴き始める頃。縄張り意識の強いせきれい、車のミラーに映った自分の姿を攻撃するとか。季節の花「アザミ」世界には250種もあり、スコットランドの国花です。これはアザミのトゲが侵入者を防いで国を守ったというエピソードに由来。花言葉は「権威、触れないで、独立」



9/18～22(第四十五候) 玄鳥去／つばめさる

昔から季節の移ろいを知らせてくれたつばめが南の島へ渡ってゆきます。食欲の秋♪キノコや果物、魚や新米など秋の味が豊富になります。旬の食べ物は、暑さで落ちていた食欲を回復し、栄養価もすぐれた自然の恵みです。



十六節気

秋分
しゅうぶん

9/23～27(第四十六候) 雷乃収声／かみなりすなわちこえをおさむ

雷の声もそろそろ聞こえなくなる頃。夏から秋にかけて「一日花」である白やピンクの花と次々と咲かせる芙蓉。白色で咲き、午後には濃いピンク色に変わる「酔芙蓉」、ムクゲやハイビスカスも同じ仲間です。



9/28～10/2(第四十七候) 蟄虫坏戸／むしかくれてとをふさぐ

日々秋が深まってゆく頃、小さな虫たちも冬に備えて、冬ごもりの準備を始めます。南北に長い日本列島、日本で一番早く初冠雪を記録するのは旭川の旭岳(平年9/25)、富士山(平年9/30)。

「暑さ寒さも彼岸まで」
昼と夜が同じ長さになる秋分の日。

観葉植物「アンズリウム」

サトイモ科 アンズリウム属
原産地:南アメリカ～エクアドル

ハートの形の葉と、赤やピンクの花のように見える。仏炎苞(ぶつえんほう)と呼ばれる苞をもつ人気の観葉植物です。

ハワイではバレンタインに送る鉢花として人気があり、和名はオオベニウチワ(大紅団扇)。花言葉は「煩惱」「恋にもだえる心」。

強い光を避けた日あたり～半日陰の室内で水やりはひかえめに。5～9月は10日に一度液肥か、緩効性の置肥により、次の花(苞)も楽しむことができます。



外来担当医表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	茶谷	河田
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	茶谷	河田
2診	午前	高橋〈顔〉	砂田	角田	富士井	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊椎・脊髄外来 山本	角田	—	脊椎・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	細川
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	脳神経内科 小坂田	脳神経内科 赤谷	脳神経内科 小坂田 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脳神経内科 小坂田〈FUS〉	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 脳神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

※毎週金曜日13:00～ 7診 麻酔科 鈴木

(2022.9)

※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 6診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.95

近藤眼科医院

院長:近藤 直士

【認定資格・所属学会】医学博士、日本眼科学会認定眼科専門医

【診療科目】眼科

【住 所】明石市大久保町駅前1丁目3-7

【電 話】078-936-7555

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日



近藤院長からのメッセージ

皆様の目の健康を守るべく日々診療に励んでおります。
目のことで何かお困りごとがございましたら、いつでもご相談ください。

No.129

中山クリニック

院長:中山 潤一

【認定資格・所属学会】医学博士、日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会専門医、日本リハビリテーション学会臨床認定医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリ医、日本医師会認定産業医、厚生労働省義肢装具適合判定医、日本骨粗鬆学会認定医、日本医師会認定健康スポーツ医

【診療科目】整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、消化器内科、麻酔科、内科

【住 所】明石市魚住町金ヶ崎370

【電 話】078-935-6060

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
14:00～16:00 (検査予約診)	○	○	○	/	○	/	/
16:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/

初診の方の受付は、午前は11:30、午後は18:30までにお済ませください。

休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日、年末年始



中山院長からのメッセージ

肩、肘、足痛をエコーで診断し再生医療、体外衝撃波治療が得意です。今年9月内視鏡センターが誕生します。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘



ホームページ